

## 教科シラバス（外国語科）

科目名	英語コミュニケーション I	履修学年	履修単位	履修形態	授業形態
		1	3	必履修	一 斉
<b>使用教科書・副教材・準備物</b>					
All Aboard! English Communication I（東京書籍） All Aboard! English Communication I BRIDGE WORKBOOK、WORKBOOK（東京書籍）					
<b>科目の概要</b>					
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。					
<b>学習目標</b>					
<p>日常的な話題や社会的な話題について、多くの支援を活用すれば、</p> <p>1 必要な情報を聞き取ったり読み取ったりし、話し手や書き手の意図を把握し、概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。</p> <p>2 基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり、論理性に注意して話して伝え合ったり、書いて伝えることができる。</p>					
<b>年間学習プログラム</b>					
	<b>学習内容</b>	<b>学習のねらい</b>			
1 学期	Warm Up 1・2・3 Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko Pre-Lesson 2 I Like Junk Food Lesson 1 Breakfast around the World Lesson 2 Australia's Cute Quokkas	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルファベット・教室で使う表現、辞書の使い方など</li> <li>・be 動詞を理解する。</li> <li>・一般動詞を理解する。</li> <li>・世界の朝食の特徴や相違を読み取る。</li> <li>・オーストラリアの野生動物クオックと観光のルールを読み取る。</li> </ul>			
2 学期	Lesson 3 A Train Driver in Sanriku Lesson 4 A Miracle Mirror Lesson 5 Learning from the sea Reading 1 Short Stories in English  Lesson 6 A Funny Picture from the Edo Period	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職業の意義について読み取る。</li> <li>・海外の観光地の魅力について読み取る。</li> <li>・今好きなことと将来の夢を読み取る。</li> <li>・3つのショートストーリーそれぞれの場面や心情とユーモアについて読み取る。</li> <li>・浮世絵と現代マンガの関連性を読み取る。</li> </ul>			
3 学期	Lesson 7 A Diary of Hope Lesson 8 A Door to a New Life Lesson 9 Fighting Plastic Pollution  Lesson 10 Pigs from across the Sea  Reading 2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生きることの意味を読み取る。</li> <li>・ロボットの可能性を読み取る。</li> <li>・プラスチックによる環境汚染とインドネシアの姉妹の活動について読み取る。</li> <li>・第二次世界大戦によって疲弊した沖縄とハワイ在住の沖縄出身日系アメリカ人からの支援、両地域の現在の交流について読み取る。</li> <li>・物語の場面や登場人物の心情を読み取る。</li> </ul>			
<b>評価の観点及び内容</b>					
知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
<p>外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。</p> <p>外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。</p>		<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。</p>		<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。</p>	
<b>評価方法及びその他留意事項</b>					
定期考査、学習態度、授業におけるパフォーマンステスト（音読テスト・プレゼンテーション・スピーチ等）の状況を含め、上記3つの観点から総合的に評価する。					